

様式第 2 号(第 7 条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和 6 年度第 2 回 さいたま市岩槻人形博物館運営委員会
2 会議の開催日時	令和 7 年 3 月 6 日（木曜日） 午前 1 0 時 0 0 分～午後 1 2 時 1 5 分
3 会議の開催場所	さいたま市岩槻人形博物館会議室
4 出席者名	新井委員長、是澤副委員長、内田委員、小澤委員、中村委員、抜井委員、三次委員、森田委員
5 欠席者名	小野寺委員
6 議題及び公開又は非公開の別	(議題) 1 報告事項 令和 6 年度事業について 2 審議事項 令和 7 年度事業計画（案）について (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	0 名
9 審議した内容	令和 7 年度事業計画（案）について
10 問合せ先	スポーツ文化局文化部 岩槻人形博物館 電話 048-749-0222 FAX 048-749-0225
11 その他	—

令和6年度第2回さいたま市岩槻人形博物館運営委員会 会議録

- 1 日 時 令和7年3月6日（木） 10時00分から12時15分まで
- 2 場 所 岩槻人形博物館 会議室
- 3 出席者 (1) 委員（8人）
新井久代委員長、是澤博昭副委員長、内田幸彦委員、小澤正信委員、中村美帆委員、
抜井ゆかり委員、三次宣夫委員、森田由美子委員
(2) 事務局
スポーツ文化局 鶴田局長、川田文化部長
岩槻人形博物館 田中館長、岩崎副館長、武井係長、林係長、江口主査、岩田主任、
高橋主事
(3) 欠席者（1名）
小野寺秀一委員
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容 以下「次第」のとおり
＜次第＞
 - 1 開会
 - 2 挨拶
 - 3 委員の紹介
 - 4 委員長・副委員長の選出
 - 5 議題
 - (1) 報告事項 令和6年度事業について
 - (2) 審議事項 令和7年度事業計画（案）について
 - (3) その他

4 閉会

＜委員長・副委員長の選出＞

委員の互選により、委員長に新井委員、副委員長に是澤委員が選任された。

＜議事内容要約＞

報告事項 令和6年度事業について

審議事項 令和7年度事業計画（案）について

事務局から資料に基づく説明があり、これに対し各委員から次の通りの意見があった。

- 来館者数は、観覧料を支払い展示を観覧された方の人数なのか。
事務局 展示を観覧された方や立ち寄った方など、当館に来館されたトータルの来館者数である。
- 地域との連携について、人形文化サポーターズでは岩槻人形博物館でのイベント以外でも、
にぎわい交流館いわつきにおいて、金魚すくいや人形作り、鯉のぼりくぐりのほか、主に子ども

もを対象とした兜被りや軍配、刀の甲冑体験なども実施している。この取組は、博物館とにぎわい交流館との橋渡しとしての役割を担っている。博物館としてにぎわい交流館の年間事業を把握し、擦り合わせを行った方がお互いに来館者数の増加につながるのではないかと。両施設の中央に駐車場があり物理的に離れているので、1つの施設として連携していく必要があると考えている。

令和6年度事業において慈恩寺中学校との取組は、学校側から働きかけがあったとの説明であったが、市内や近隣の学校にもアプローチしていても良いのではないかと。

事業報告に来場者数など具体的な数値が示されているものとそうでないものがある。数値化するのは難しいものもあると思うが、資料12ページ(9) 市内観光部門との連携事業などは人数を把握することは可能ではないかと思うが、いずれにしろ、なるべく実績値を把握できる方法を考えた方が良いのではないかと。

- 12ページ(9)の事業は参加する場合は入館が必須のものであるのか。

事務局

①のスマートフォンを活用した謎解きは、実際に入館しなくても謎解きができ入館は必須ではないため、実数を把握するのは難しい。②のアニメのデジタルスタンプラリーについては景品の交換場所となっており、景品を交換した方の人数は把握している。3月5日現在で、ステッカーを交換に来られた方は1,119人である。

- 入館料を支払わなくても景品を交換できるのか。展示を観てもらうため、スタンプラリー参加者に展示を観覧することを条件にすることは可能か。

事務局

アニメのスタンプラリーは著作権などの権利関係があり、料金を徴収することはハードルが高いと聞いている。その他のスタンプラリーの実施方法については、観光部署と協議したいと考えている。

- 令和6年度事業の広報・プロモーションにおいて、埼玉高速鉄道の中吊り広告の掲出とあるが、JRや東武鉄道などの他の鉄道事業者での広報はどのようにしているのか。

事務局

東武鉄道については、展覧会ごとにポスターを駅構内で提示いただいている。JRには現状お願いできていないので、来年度以降、検討したいと考えている。

- 特別展・企画展は大きく分けて、コレクションを紹介するような展示、何らかのテーマを設けた展示、優品を紹介する展示とあるが、職人の技術や道具、材料など人形作りをテーマにした展示はこれからも継続してほしい。当館は美術館ではなく博物館であるので、様々な方向性の展示をやっているということを評価している。今年度の人形修復に関する展示を観覧したが、来館数が少なかったが、開館以前から人形修復を行っている当館として意義のある非常に素晴らしい試みであった。また、現在開会中の雛の名品展も観覧したが、人形資料が修復により以前よりも美しくなっていると実感した。これも修復事業の成果であると感じている。また、ライティングが工夫されていて大変観覧し易かった。

優品中からキラーコンテンツとなる人形資料をもっと前面に押し出していくと良いのではないかと。

学校の受け入れが減っているとのことだが、バス料金が高騰しているのも1つの要因であると聞いている。しかし、当館の規模で37校を受け入れているのは非常に多いと感じている。学校見学の受入は、博物館の規模や職員の体制等により受入の上限があるので、その他の事業

とのバランスの中で、どのくらいが適性な受入数なのかを見極め、その数を維持しながら、市内校のみとするのか市外校にも広げていくのか検討していく必要があると考える。

令和7年度の企画展（仮）「にんぱく動物園」については、今年度に行田市の博物館でも類似の企画の展覧会を開催していたので、実施にあたっては、当館ならではの切り口や味付け等で差別化を図っていければ良いと考える。

ミュージアムグッズについては、とても魅力的なものが多く、うまく宣伝・周知を行えば、売れていく商品も沢山あると思うので、継続して周知に取り組みたい。令和7年度の企画展（仮）「ミニチュア×雛祭り」については、小さいものを大きく見せるなど、見せ方に工夫が必要である。

- 大学のゼミの一環で20代の学生を連れて来館したが、学生の感想としては「思っていたより面白かった」であった。特にInstagramは学生に好評であり、頑張っているという印象を持ったようだ。また館内が撮影可能であるため、人形資料をスマートフォンで撮影するなど、若者の視点での楽しみ方もあるように感じた。人形資料の写真の撮り方とセットで館を紹介するなどの方法は、若者にも刺さるのではないかな。

先程、デジタルスタンプラリーの話がでたが、折角、観光部門と連携しているのであれば、観光部門にお願いし、展示室に入館してもらう方策を検討してもらっても良いのではないかな。

20代の学生の感想としては、男女の性別を問わず想像以上に人形文化を面白がっていたように思う。

文化政策では、文化を伝えることと施設としての集客はジレンマとして語られがちであるが、当館はその両立できる条件が揃っているのではないかな。人形文化を伝えていきながら、マーケティングとして媚びることなく、人形文化をコアとした部分を大事にしながら、集客に繋げていくことは、可能なのではないかな。

人形作りに関わる人や技、現代の職人やアーティスト、過去の作家など、人にフォーカスした地域と関連した展示などがあっても良いのではないかな。

岩槻には私立の学校もあるのでもっとアピールしても良いのではないかな。特に私立の小・中・高校などは、季節の節句などを大事にしている学校が多いので、五節句と合わせて私学と連携ができると違った可能性が広がるのではないかな。

事務局の説明を聞いているとリピーターが増えてきているように思う。目標の7万4千人には到達していないが、すごく集客を頑張っているように思う。恐らくコアなファンができていないのではないかな。市内の方は市報等で情報を得ることができるが、市外のファンの方に企画展の情報等をどのように届けるかは工夫が必要である。例えば、美術館等での友の会などはどのくらい有効か分からないが、リピーターとして定期的に来館してくれる方を確実に確保する方法を考える必要がある。

事務局 私立の学校に関しては、間接的な関わりはあるが、事業への直接的な関わりではないので、地域の私立学校との連携は考えていく余地はあると考えている。また、市外のコアなファンをリポートしてもらう方策も引き続き検討していく。

- チラシ等は個人レベルで郵送しているのか。

事務局 郵送物に関しては個人には対応しておらず、基本的には団体・機関単位で対応している。

- 3月2日(日)に家族を連れて展覧会を観たが、かなりの賑わいがあった。展示室1はスペースが狭く映像もあり来館者が滞留してしまうことが課題であると思うが、展示室1の映像を他の場所で鑑賞できる仕組みがあれば、混雑を分散できるのではないかと感じた。SNS対策としてプロップスやフォトパネルなど設置してあり、このような取組は家族連れや若年層にも楽しんでもらえる良い工夫だと感じた。コレクションカードについては、現代美術家の展覧会でも人気となり、それが欲しいがために来館される方も多いと聞く。コレクションカードは収集意欲が湧き、またカード自体にQRコードで読み取れるなどの工夫もしてあり、良い取組であると思う。当日はかなりの来館者があったと思うが、人員配置も充実しており、来館者への声かけなど対応もしっかりしている印象を受けた。家族からは建物の外観が大きく見える反面、展示室が狭く感じたという意見があり、会議室などのスペースの活用方法も検討する必要があるのではないかと感じた。にぎわい交流館では、まちかど難めぐりの参加者に当館の割引券を渡し案内をしていたので、うまく連携が図れていると感じた。

アニメとの連携については、岩槻が舞台となっているアニメ「その着せ替え人形は恋をする」は中高生に大人気であり、今年中には第2シリーズも始まるようである。放映が終了した現在でも都内のデパートでも記念展を実施し集客を行っているようなので、今年は当アニメを活用するチャンスであると考えている。当館は若年層が弱いと思うので、当アニメをフックとして、入館するように誘導しても良いのではないかと考えた。

権利の関係で難しいとは思いますが、コレクションカードにアニメを活用することができれば、若年層をより取り込めるのではないかと考えた。

大宮盆栽美術館は現在、改装中で休館しているが、改装後はより連携を深める必要があると思う。観光面では、これから益々インバウンドに注力していかなければならないと考えるが、そのあたりの対応が急がれるのではないかと考えた。大宮盆栽美術館はインバウンドが多く来館していると思うので、対応策について共有しておくのが良い。インバウンドの傾向として、新しく創られたものより、城下町や歴史のある場所などが人気があり、その意味では岩槻も城下町であるので博物館という点ではなく、岩槻を面として回遊できるよう案内することなども視野に入れても良いのではないかと考えた。

- 資料11 ページのゆかた de 盆美&にんぱくについて、参加数が19人と少なかったように感じたが事務局はどのように捉えているか。

事務局

委員ご指摘のとおり、参加者数はもっと多いと期待しており非常に残念な結果であった。大宮盆栽美術館が途中で休館となった影響もあると思うが、この結果を踏まえ、両館において課題を整理したい。大宮盆栽美術館ではゆかたの着付けや打ち水などの体験イベントも実施しており、当館としても企画性のあるイベントの検討も必要であると考えている。周知についてもまだまだ足りなかったと考えている。

- チラシなどの案内図において、一般的には北が上となるよう作成されていると思うが、駅を降りて地図も見て来館する方も多いと思うので、進行方向を上にした方が見やすいのではないかと考えた。今後作成する際に検討してほしい。
- 来年度の(仮)「“人形のまち岩槻”の歴史」という特別展を始めて開催するとのことだが、岩槻は人形の職人が多い街であり、多くのものを作っているが、一般の方の目に触れること

が無く全国に出荷している状況であるため、現在の職人が作っている作品を是非、展示して欲しい。

- 展覧会において、1つくらいは来館者を気にしないものがあっても良いのではないか。展示は永続性が必要であり人流が減る夏期などに、修復に関する展覧会ができるのは当館の強みである。当館でしかできない内容は、来館者数を気にせずに取り組むことも博物館の使命であるとする。観光の取組によって一時的に来館者は増えるかもしれないが、それ以外の永続性が非常に大事であるとするので、学芸員のモチベーションにもつながるような研究をテーマにしたものが1つでもあった方が良いと思う。特に人形修復に関しては、修復方法がまだ分からなかった頃から、他館で人形を修復された方を招き、その修復の技術が現在につながっていることを考えると30～40年のスパンの技術がつながっている。人形修復はここで確立されたものではなく、受け継がれた技術であるので、これに関してはリピーターや来館数に捉われないことも必要であると思った。

高橋まゆみ展は人形展示の原点であると感じた。以前、百貨店において展覧会を監修したが展示の場所で人がしゃべり過ぎると美術館の方が戸惑っていたが、思い出を語りながら観覧をするのは人形展示の魅力であり、高橋まゆみ展を観て改めて実感し、もう1つ人形の広がりを感じた。

高橋まゆみ展の来館者数は抜き出ているが、来年度の事業計画ではこれがなくなるので、入館者数だけで評価されないようにお願いしたい。

気候変動に対応した夏期の開館時間の検討については、歌舞伎においては、夏期にお化けの演目を行っており、お化けを作っている人形師も多い。お化けは江戸からの風物詩であるので、当館においてそれを夜間にやるのも、人形の多様性や人形文化の奥深さなどを見せる取組として面白いのではないか。見世物興行とのタイアップなどもあっても良いのではないか。

会議録作成

事務局が作成の上、その確認については委員長に一任することとされる。

令和6年度 第2回さいたま市岩槻人形博物館運営委員会

日時：令和7年3月6日（木）午前10時00分～
場所：さいたま市岩槻人形博物館 会議室

令和6年度第2回さいたま市岩槻人形博物館運営委員会 次第

日時：令和7年3月6日（木）
10時00分から11時00分まで
場所：さいたま市岩槻人形博物館会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員の紹介
4. 委員長・副委員長の選出
5. 議題
 - (1)報告事項 令和6年度事業について
 - (2)審議事項 令和7年度事業計画（案）について
 - (3)その他
6. 閉会

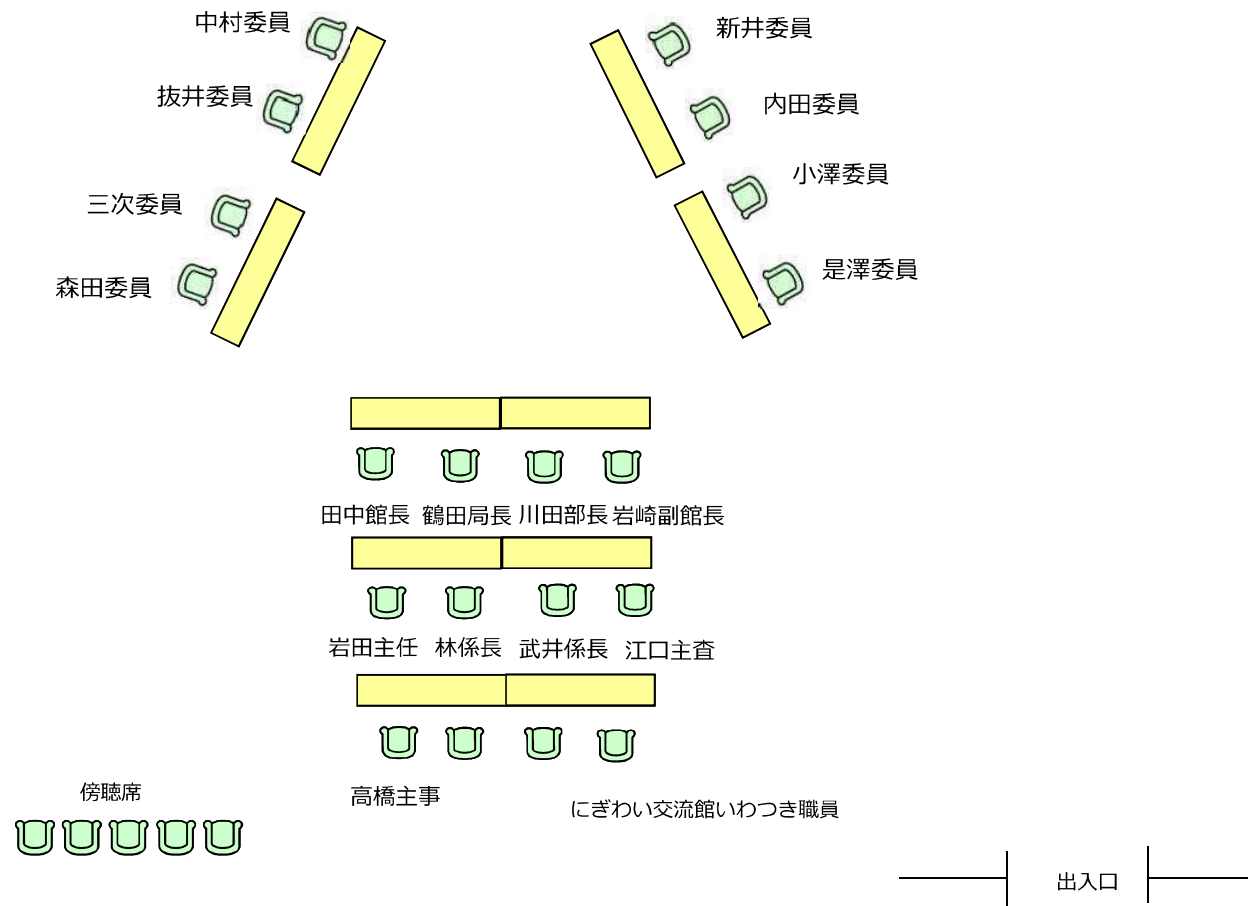
委員名簿

(敬称略 五十音順)

氏 名	所 属
新井 久代	公益財団法人遠山記念館 学芸員
内田 幸彦	埼玉県立歴史と民俗の博物館 主席学芸主幹
小澤 正信	NPO法人岩槻・人形文化サポーターズ 代表理事
小野寺 秀一	東武鉄道株式会社 岩槻駅長
是澤 博昭	大妻女子大学 教授
中村 美帆	青山学院大学 総合文化政策学部 准教授
抜井 ゆかり	立教大学 兼任講師
三次 宣夫	岩槻区自治会連合会 会長
森田 由美子	岩槻人形協同組合 婦人部長

任期：令和7年3月6日から令和9年3月5日まで

席次



議題

(1) 報告事項 令和6年度事業について

令和6年度事業について

1. 展示事業

特集展示

「こんな人形、集めました！－西澤笛畝の人形コレクション選－」

会 期：令和6年4月27日（土）～6月30日（日）

開館日数：58日間 来館者数5,931人

《関連イベント》

①ワークショップ オリジナル缶バッジ作り

期 日：5月5日（日・祝）、6日（月・休）

参加者数：200人

②ボランティアによるGW展示解説

期 日：5月3日（金・祝）、4日（土・祝）5日（日・祝）各日2回開催

参加者数：総計90人 案内役ボランティア：5人



企画展

「にんばくの人形修復～文化財を未来へ～」

会 期：令和6年7月20日（土）～9月8日（日）

開館日数：45日間 来館者数3,646人

《関連イベント》

①学芸員と修復技術者による展示解説

期 日：7月27日（土）参加者数20名、8月25日（日）参加者数20名

9月1日（日）参加者数38名

②トークイベント「文化財修復技術者として生きる」

期 日：8月3日（土）参加者数33名

登壇者：新井榛名氏（当館修復技術者）ほか

③講演会「博物館コレクションの保存修復」

期 日：8月31日（土）参加者数32名

講 師：野中昭美氏（東京国立博物館 保存科学課保存修復室主任研究員）



令和6年度事業について

特別企画展

「忘れたくない、大切なもの—高橋まゆみ人形展—」

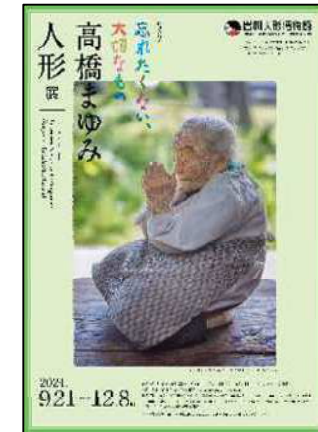
会 期：令和6年9月21日（土）～12月8日（日）

開館日数：71日間 来館者数19,369人

《関連イベント》

①高橋まゆみ氏による展示解説

期 日：9月21日（土）参加者数130名、10月19日（土）参加者数267名



企画展

「開館5周年記念 雛の名品～おひなさまづくし～」

会 期：令和7年1月25日（土）～3月23日（日）

開館予定日数：52日間 来館者数8,348人（2月28日現在）

《関連イベント》

①学芸員による展示解説

期 日：2月16日（日）参加者数25名、3月1日（土）参加者数35名

②スライドトーク「華麗なる雛の世界—遊び心の美」

期 日：3月8日（土）

講 師：是澤博昭氏（大妻女子大学 教授）



特別公開

「にんぱくのスター 犬笛」

会 期：令和6年12月13日（金）～12月27日（金）

開館日数：12日間 来館者数868人



犬笛 江戸時代

令和6年度事業について

2. 教育普及事業

(1) ワークショップ等

①～夏休みワークショップ～

プラバンとレジンで作る"にんぱくオリジナル"キーホルダー

令和6年8月4日（日）①10:30～11:30（参加者数11名）

②13:30～14:30（参加者数4名）



にんぱくオリジナルキーホルダー

②つくろう、犬笛 ～いぬばこの絵付け体験～

令和6年12月15日（日）14:00～16:00

参加者数:13名

本物の犬笛を鑑賞した後、手のひらサイズの犬笛型に絵付けをする



犬笛（絵付け例）

③雛道具の世界 ～組香をやってみよう 三炷香～

令和7年2月11日（火・祝）10:00～11:30、13:00～14:30、
15:00～16:30 参加者数:52名

雛道具のなかにある香道具や香道を学び、組香を体験する



組香の道具

④つくろう、おひなさま ～ふじ雛の絵付け体験～

令和7年2月15日（土）①10:00～12:00（参加者数9名）

②14:00～16:00（参加者数15名）

富士山の形をした縁起の良いお雛様（ふじ雛）の型に絵付けをする



ふじ雛（絵付け例） 7

令和6年度事業について

2. 教育普及事業

(2) 展示解説 (令和7年2月末現在)

種別	内容
定例 (学芸員)	計11回 毎月22日に開催
定例 (ボランティア)	計5回 6月より、ひと月1回(土日)に開催
特別展示解説 (ボランティア)	計17回 5月上旬、11月上旬、2月下旬～3月上旬の土日開催

(4) ボランティアの活動

【活動実績】 (令和7年2月末現在)

内容	実施回数	延べ人数
研修	7回	36人
ワークショップ	5回	18人
展示解説	12回	12人
学校見学	24回	35人
その他	3回	11人
合計	51回	112人

登録者数：18人

(3) 博学連携 (学校見学等受入れ)

【受入実績】 (令和7年2月末現在)

内訳	学校数	参加人数
市内	23校	1,989人
市外	14校	1,188人
合計	37校	3,177人

(5) その他

①夏休み企画「岩槻こども人形博物館」
期 間：令和6年7月20日(土)
～9月1日(日)
内 容：岩槻の人形について学べる「学習シート」を配布。期間中に利用すると、小学生は観覧料が無料
参加者数：205人

②慈恩寺中学校・美術科授業選抜作品展覧会
期 間：令和7年1月28日(火)
～2月2日(日)
内 容：学校教育における人形文化の取り入れを周知するため、生徒が制作した人形作品を展示
展示数：11点

令和 6 年度事業について

3. 人形資料等調査・研究・修復事業

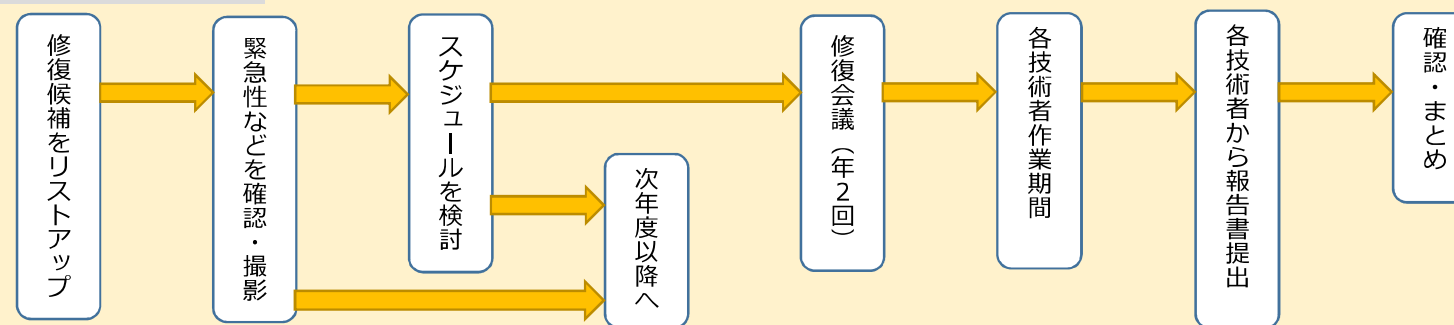
(1) 人形資料等修復

文化財修復技術者（会計年度任用職員）4 名による資料修復を実施

館内では取り扱いが難しい修復（主に紙資料）に関しては委託業者に依頼

年度	令和元年度 以前	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	合計
修復件数	397件	67件	39件	47件	54件	41件（予定）	645件（予定）

修復事業の流れ



(2) 人形資料等収集（購入・寄贈）

年度	令和元年度 以前	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	合計
購入件数	987件	8件	10件	13件	14件	10件（予定）	1,042件（予定）
寄贈件数	4,424件	56件	15件	107件	13件	29件（予定）	4,644件（予定）
合計	5,411件	64件	25件	120件	27件	39件（予定）	5,686件（予定）

令和6年度事業について

4. 広報・プロモーションの実施

主な実施内容

(1) 浦和レッズ等のホームゲームでのPR

①ブース出展

【日時】4月20日(土) 13:00~16:00

6月30日(日) 15:30~18:30

【場所】埼玉スタジアム2002

②大型映像装置での広告放映

【日程】4月14日(日) 浦和レッズレディース

7月6日(土) 浦和レッズ

【場所】駒場スタジアム



浦和レッズホームゲームでのPR

(2) WATSUストリートマルシェでのPR

毎月第3土曜日に岩槻駅前の賑わい創出のため、地元商業者等が開催する「WATSUストリートマルシェ」に出展し、展覧会等のPRを実施

【日時】5月18日(土) 11:00~16:00

9月21日(土) 15:00~20:00

2月15日(土) 11:00~15:00

【場所】岩槻駅東口クレセントモール



WATSUストリートマルシェの様子

(3) 埼玉高速鉄道(株)の中吊り広告の掲出

【掲出内容】企画展「にんぱくの人形修復」

企画展「開館5周年記念 雛の名品」

【掲出期間】展覧会期間中の有料広告の掲載が無い期間

【掲出場所】10車両(6両編成)のすべての車両



埼玉高速鉄道(株)中吊り広告

令和6年度事業について

(4) 展覧会等に合わせたレプリカ等展示PR

- ・大宮盆栽美術館（7月12日（金）～7月17日（水））
- ・パレスホテル大宮（7月19日（金）～8月2日（金））
- ・さいたま市中央区役所（8月5日（月）～8月21日（水））
- ・さいたま市役所本庁舎（8月21日（水）～9月3日（火））
（12月17日（火）～12月26日（木））
- ・イオンモール与野（9月14日（土）～9月16日（月））



パレスホテル大宮での展示

(5) 企画展限定、ヨロ研カフェとの連携事業

- ・ヨロ研カフェで買い物をした方を対象に当館で抽選会に参加できるコースターをプレゼント

実施期間：7月20日（土）～9月8日（日）

来館者数：538人



ヨロ研カフェ連携コースター

(6) ゆかたde盆美&にんぱく

- ・大宮盆栽美術館と連携し、ゆかたで来館すると観覧料が無料となるイベントを同時開催 両館ホームページに共通バナーを表示

実施期間：7月15日（月・祝）～9月8日（日）

参加者数：19人



共通バナー

(7) 文化振興事業団によるロビーコンサート

- ・二胡（弦楽器）とギターの演奏

日 時：9月16日（月・祝） ①10：30～ ②13：30～

場 所：当館会議室

参加者数：98人



(8) 日本工芸会人形部会による研究会（共催）

日 時：12月21日（土）14：00～16：00

場 所：当館会議室

参加者数：40人

令和6年度事業について

(9) 庁内観光部門（観光国際課）との連携事業

① さいたま謎旅2024

実施期間：12月1日（日）～2月16日（日）

内 容：スマートフォンを使用した観光周遊型イベント（当館は謎解きスポット）

② アニメを活用したデジタルスタンプラリー

実施期間：1月10日（金）～3月9日（日）

内 容：スマートフォンを使用したデジタルスタンプラリー（当館は景品引換場所）



(10) 開館5周年記念イベント

① 開館5周年記念コレクションカードの配布

配布期間：1月25日（土）～なくなり次第終了

内 容：名品をコレクションカードにして配布（全8種類）

② ロゼット缶バッジ&記念抽選会

期 日：2月22日（土）

参加者数：缶バッジ100名、抽選会383名



コレクションカード



ロゼット缶バッジ

5. 地域との連携

① にぎわい交流館いわつきとの連携

・企画展関連 和菓子作り体験 7月27日（土）、8月25日（土）各10名（同館 多目的室1・2）

・特別企画展関連 パネル展示 9月21日（土）～12月8日（日）（同館 交流・休憩ルーム）

② NPO法人岩槻・人形文化サポーターズイベントとの連携

・当館会議室等での五節句のイベント開催

③ 地域イベントとの連携

・岩槻まつり、鷹狩り行列、まちかど雛めぐりのチラシ等で展覧会情報を発信

議題

(2) 審議事項 令和7年度事業計画（案）について

令和7年度事業計画（案）について

【令和7年度目標】

さいたま市総合振興計画基本計画実施計画（令和3年度～令和7年度）

目標指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間来館者数	目標	77,000人	74,000人	74,000人	74,000人	74,000人
	実績	29,254人	32,421人	39,656人	—	—
館の認知度 ①市内在住者 ②在勤者	目標	—	①42.0% ②27.0%	①44.0% ②28.0%	①47.0% ②29.0%	①50.0% ②30.0%
	実績	—	①39.5% ②29.6%	①41.1% ②26.5%	①45.5% ②30.1%	—

1. 展示事業

（1）基本的方向性

[展覧会] リピーターの獲得及び幅広い層への訴求を意識した展示を実施

年4回《特集展示、企画展（夏）、特別展、企画展（雛）》

企画展（夏）、特別展については、開館5周年を記念し「開館5周年記念」の冠称を付して事業を実施

[常設展示] リピーターを逃さないためにコレクションを幅広く活用した展示替えを実施
年10回程度

令和7年度事業計画（案）について

（2）展覧会計画

特集展示

こんな人形、集めました！ ―西澤笛畝の人形コレクション選Ⅱ―

【会期】 4月26日（土）～6月29日（日）

【狙い】 **バラエティに富んだ収蔵品の魅力を紹介**

【内容】 大正・昭和に活躍した日本画家で人形玩具研究家の西澤笛畝が
集めたバラエティ豊かな人形・玩具を紹介する第2弾

【主な展示資料】 アジア・東南アジアの人形、西澤笛畝「人形玩具絵」など

【関連イベント】 ボランティアによる展示解説、オリジナル缶バッジ作り



西澤笛畝

企画展 ―開館5周年記念―

（仮）にんぱく動物園

【会期】 7月19日（土）～9月7日（日）

【狙い】 **子どもと大人が楽しめる夏休み向け企画展**

【内容】 古くから人間の暮らしと密接に関係し、親しまれてきた動物を
モチーフにした人形を紹介

【主な展示資料】 毛植人形、御殿玩具、郷土玩具など

【関連イベント】 御殿玩具ワークショップ、サマーキッズデーなど



毛植人形 犬 江戸～明治時代

令和7年度事業計画（案）について

特別展 ―開館5周年記念―

（仮）“人形のまち岩槻”の歴史

【会期】 10月4日（土）～11月30日（日）

【狙い】 **開館5周年・岩槻区合併20周年を記念した企画を実施**

【内容】 開館5周年・岩槻区のさいたま市編入20周年を記念し、日本の人形文化を支えてきた“人形のまち 岩槻”の歴史を紹介。地域に根付いた人形作りに関する伝承を検証しながら、その実像をひもといていく、岩槻の人形史をテーマとする初めての展覧会

【主な展示資料】 人形及び人形関係史料、城下町関係史料、藩主関係史料

【関連イベント】 人形職人によるワークショップ・連続歴史講座など



岩槻の雛人形

企画展

（仮）ミニチュア×雛祭り

【会期】 1月24日（土）～3月22日（日）

【狙い】 **雛祭りや雛人形の歴史・文化の普及**

【内容】 江戸や明治のミニチュアが生み出す極小美の世界に焦点をあて、極限まで小型化しようとした職人たちの粋なこだわりを紹介。

【主な展示資料】 芥子雛、雛道具など

【関連イベント】 ふじ雛ワークショップ・スライドトークなど



紫檀象牙細工蒔絵雛道具 江戸時代

特別公開 平田郷陽の人形

【会期】 12月12日（金）～1月12日（月・祝）

【内容】 人形の分野ではじめて人間国宝に認定された平田郷陽の珠玉の3点を特別公開



「矢の根」平田郷陽 昭和17年(1942)

令和7年度事業計画（案）について

2. 教育普及事業

(1) ワークショップ・講座・講演会 等

【基本的方向性】

ワークショップについては、引き続きボランティアを中心とした準備・開催を目指し、定番的な内容のワークショップを通年実施する。講座・講演会については、各展覧会のテーマに応じて実施を検討する。

(2) 博学連携（学校見学等受入れ）

【基本的方向性】

受け入れ体制の充実を図り、市内のみならず、市外の学校にも積極的にアプローチを行い学校見学の連携強化を図るとともに、学習内容の見直しを検討する。

(3) ボランティア活動

【基本的方向性】

研修や展示解説、ワークショップを通じて、更なるスキルアップを行うとともに、活動内容を拡充し、ボランティアの満足度の向上を図りながら、来館者の満足度につなげる。

3. 人形資料等調査・研究・修復事業

【基本的方向性】

当館コレクションの調査・研究を行い、その成果を展示などに生かすとともに、未来に継承すべき人形資料及び人形関連資料の収集を行う。

また、資料修復は劣化状況等を勘案しながら、優先順位を決定し修復を行っていく。

令和7年度事業計画（案）について

4. 広報プロモーション

【基本的方向性】

来館者数の増加や館の認知度の向上を図るため、市内外の他館連携の強化や周辺自治体との連携を図り、県内及び近県をターゲットに広報を実施

＜想定している内容＞

- ・ 周辺自治体等と連携したツアーの造成
- ・ 多言語対応の展示解説ガイドシステムの導入
- ・ 購買意欲を刺激するようなミュージアムグッズの開発
- ・ 気候変動に対応した夏期における変則的な開館時間の検討
- ・ 若年層の取り込みを意識したソーシャルメディアの活用方法の再検討
- ・ 映画やドラマ等の撮影地としてメディア露出

5. 地域との連携

【基本的方向性】

- ・ 岩槻人形協同組合や岩槻・人形文化サポーターズなどの地域団体やにぎわい交流館いわつきと連携した取組や地域イベントは継続しつつ、体験型コンテンツの確立など連携内容の拡充を検討